

新年おめでとうございます。昨年は、皆様からのご支援ご厚情により、「フードバンクしばた」を大きく飛躍の年にすることができました。ここに改めて、深く感謝申し上げます。

◆ 昨年を振り返って 感謝と感動の一年でした

ご支援してくださる人が大幅に増えました。新たな素晴らしい出会いもありました。ボランティアの献身的な協力により、それぞれの活動がより充実してまいりました。

昨年からの新規事業である訪問型病児保育、無料塾寺子屋、ナプキンプロジェクトも大きな成果を残すことができました。

年末に共催で実施した「工藤教育長講演会」も成功裏に終わることができました。聴衆のほとんどの人が感動で泣いておられました。近く、その内容が製本化されます。

毎月、複数の講演依頼が参ります。年々増えているように感じます。全国放送されましたDVDを最初に見ていただいた後、私共の活動についてお話ししております。できる限り多くの人に、貧困の現状と私共の活動を知っていただきたいので、喜んでお引き受けしております。そのかいあってか、県内各地にフードバンクが生まれました。

昨年も、何度もマスコミに私共の活動が紹介されました。

年末には、思いもかけず朗報が飛び込んでまいりました。「地球倫理推進賞」の国内活動部門で「文部科学大臣賞」を受賞したとの知らせです。私共の活動が先進的であり、模範となることが期待されたようです。今年3月29日東京で授賞式です。

そして、多くの皆様のお役に立つことができました。それが私たちの励みと幸福につながっていると思います。

今年もより充実した年になるよう、一層精進いたしますので、皆様におかれましては、相変わらずご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



◆ 事務所で活動を支えるボランティアさんから

いつもたくさんの支援品をいただき、ありがとうございます。

今回は、支援品が支援しているご家庭に届くまでをお知らせします。まずは消費期限の確認です。日付の早い品から出せるよう仕分けします。それから袋詰めに入ります。食料品などは、6, 7品くらい入れます。その際、同じものが入らないよう注意します。お菓子は、子どもさんが喜ぶ姿を思い浮かべて袋に入れます。

ニンジンやジャガイモなどは、数個ずつ袋に詰めます。時々多かったり。おまけです（笑）。そんな時に活躍（協力）してくれるのが、仲間のボランティアです。一人ではなかなか終わらない作業もおしゃべりしながら手を動かすとすぐに終了です。

こんな品々とキャベツやダイコン、ハクサイ、時には生活用品と一緒に箱（コンテナ）に入れます。それを配達するボランティアに渡します。1日で40から50箱出る時もあります。こうして、皆様のあたたかいお気持ちがいっつも届けられております。 坂本文江



フードバンクの事業で一番時間がかかる大切な作業です。

坂本さんは、ほぼ毎日長時間、この作業を担ってくれています。また、ボランティアのまとめ役も。

◆ にいがた・新テーマ型募金に協力を

新潟県共同募金会の「にいがた・新テーマ型募金」に、緊急「子どもの貧困を守りたい」で応募し、昨年に引き続き採択されました。

この募金は、令和4年1月から3月までの3か月間で、新潟県共同募金会と一緒に資金を集め、課題解決に向けた取り組みの強化を図るもので、別添の振込用紙で募金くださると、税制上の優遇措置がありますし、募金額に一定の割合で金額を上乗せして当会に振り込まれます。

今回のテーマは、新型コロナウイルス禍などいろいろな理由から、支援を求めてこられる母子世帯が年々多くなってきており、今後も増えることが予想されることからいたします、その対応に皆様のご支援をお願いしたいというものです。

日頃ご支援いただいている皆様に、今回もさらにこのようなお願いをするのは誠に恐縮に存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

フードバンクしばた

〒957-0054 新発田市本町3-3-3

TEL：0254-20-8666 / FAX：0254-28-7666

携帯：090-3047-8732（土田）

URL：<https://foodbank-shibata.org/>

